

深川市農業関係団体・深川市議会 意見交換会報告書

平成30年3月20日

深川市議会議長 長野 勉 様

深川市議会意見交換会実行委員会
委員長 鶴岡 恵司

深川市農業関係団体・深川市議会意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

日 時	平成30年1月23日(火) 13:30~15:00
場 所	J Aきたそらち営農センター
テ ー マ	「農業基盤確保と農業の担い手対策」
出席団体	・ J Aきたそらち 柏木孝文代表理事組合長 他役職員13名 ・ 深川市農民協議会 荒井 優 委員長 他 4名 ・ 深川市農村青年部協議会 野澤浩輝 会長 他 4名 ・ 深川市議会 長野 勉 議長 他13名 ・ 深川市議会事務局 4名 合 計 42名
主催	深川市議会意見交換会実行委員会



深川市農業関係団体・深川市議会意見交換会（概要）

今回の意見交換会は、テーマを「農業基盤確保と農業の担い手対策」と題し、JAきたそらち農協常任理事・職員、深川市農民協議会、深川市農村青年部協議会の方々と行いました。

「現状と課題」、「生産力の向上」、「販売対策」、「新規就農希望者対策」、「農家子弟の就農に向けての支援」の課題について意見を交換しました。

深川市議会 長野 勉議長挨拶

きょうは、深川市の農業関係団体、基幹産業の農業に関わる代表者の皆さん方に一堂に会していただきましてありがとうございます。

基幹産業の農業は昨年もすばらしい年になりましたが、今年も8年連続の豊作に期待を申し上げます。

深川市議会では、平成27年に改選を受けまして、その後特別委員会を設置し、さまざまなテーマで議会の中身を研究し改革を進めており、一例を申し上げますと、議会での災害時の行動要綱をつくり、また、政務活動費を後払い方式に変更しております。

さらに昨年、商工会議所とJRの問題について意見交換会を行い、その後、皆で留萌本線に乗って、留萌の皆さんと、懇談をしています。

深川の基幹産業でありますこれからの農業のあるべき姿、そして今後の育成というのは、地域にとって1番大事な根幹であります。

きょうは皆さんよろしくお願ひ申し上げます。

深川市議会議員からの発言

- ・毎年農家戸数が減少し、地域をどの様に守るか、市全体の問題として認識している
- ・法人経営を目指すべきで家族経営ではやりきれない時代が来る
- ・個人経営、法人経営ともに大規模経営で頑張っている農家に対してバックアップが必要
- ・農業主をふやすことよりも、法人を育てて従業員を雇いながら地域の農業を守る体制づくりが必要
- ・北海道スタンダードで物事を進めないと山間地帯から土地が余るので対策が必要
- ・女性を農業の担い手対策として集めれば、出会いの機会もあり、人口対策にもなる
- ・新規就農希望者対策で2年間は短い。若者が将来的に夢と希望をもてる支援が必要
- ・新規就農者に補助や安く貸し付けする資金制度が必要、システムはどうなっているのか
- ・深川のお米は美味しくなったと評判で、道の駅で軽トラ市など付加価値を高めてほしい

きたそらち農業協同組合 柏木孝文代表理事組合長挨拶

本日は深川市議会主催の農業団体との意見交換会で、議員と意見交換をできる場は今までにはなかったと思います。企画していただきました皆様に感謝申し上げます。

今農協の目指すものは、この素晴らしい地域で生産された素晴らしい農産物の販売をこれ以降も続け、守っていくことが第一の目標となっています。

そのため、担い手の確保に農協も頑張っているところです。

近年、年間 20 戸ほどの農家戸数が減っているのが現状であり、戸数の減少により急激に耕作面積が増えて、平成 29 年度のきたそらち農協管内での一戸あたり面積が 19ha となり、家族農業では限界に近くなっていると考えます。今の地域の労働力を確保し地域を守るため、農協としては、法人のプロジェクトチーム等による活動も進めています。

先般、深川市長また議長さんのほうにも要請書を出しましたが、米の所得を確保することが 1 番の近道という判断で、精米での販売により所得の向上を図るため、精米施設のご協力をお願いしました。

地域のブランド力、所得の向上につなげ、青年部が中心となってこの地域を守っていただくため、農協もいろいろな角度から支援を考えています。

本日は、市議会議員の皆さん方の新しい感覚のご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

農業団体関係者からの発言

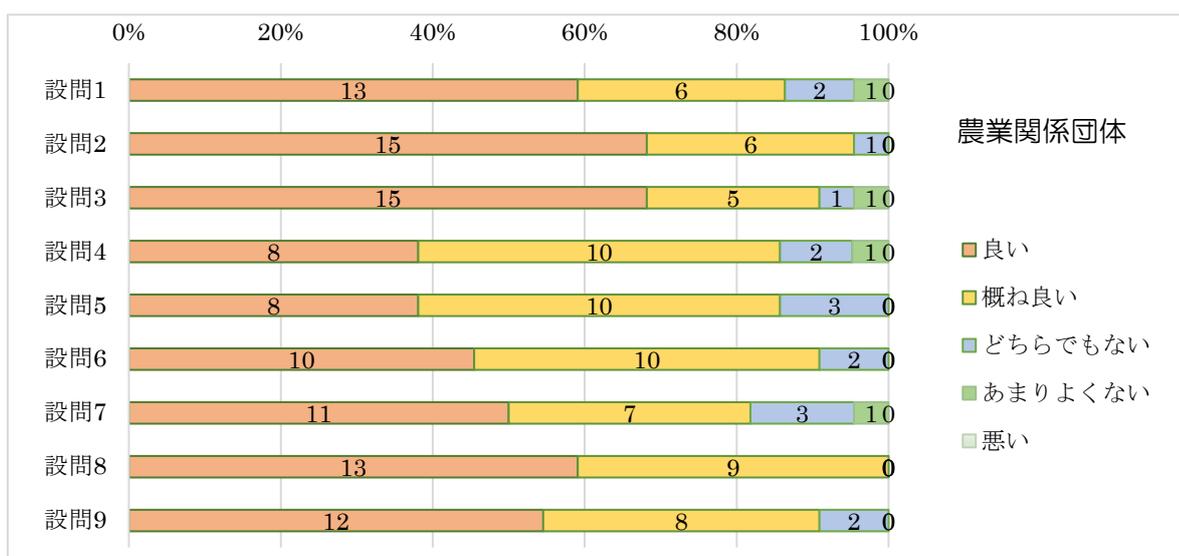
- ・米の販売とPR活動をサミットストアや深川市の各イベントにも参加し行っている
- ・「産地交付金」の100%交付と、農地の取得や担い手対策などの要請活動も必要
- ・多度志地区の蕎麦作付けが年々増え、個体出荷も限界であり計画的な対策も必要
- ・農協としても法人化を進めていて、一戸法人・複数戸法人がある
- ・拓大生も土地を利用して水稻・畑ものをやりたい方がいて、農協で受け入れ農家の核となるよう多度志に複数戸で6法人を設立し、人を雇い入れていくことを普及センターと協議を進めている
- ・工業団地内の農地が都市計画法の適用によって事業が進まないのを検討してほしい
- ・新規就農者が一番困っているのは資金面。斡旋される農地に対する意見もあり、住宅の手当やインフラ整備も含めて行政支援が必要
- ・現状、女性に限っての担い手対策の取り組みはないが、今後検討していきたい
- ・未確定だが、花で就農したいという女性の方が1名いて、積極的な推進をする
- ・女性で継ぐ方はいないが、娘さんの結婚後、旦那を連れて今、研修している方がいる
- ・納内で女性の新規就農者が昨年就職した。生活環境、医療環境・学校など支援が必要
- ・自立して大事なのは地域の方々の関わり方で、高額な農機具等は無償で貸し出した
- ・小学生対象の田植え・稲刈り体験を中学生・高校生位にまで広げてみては
- ・農協サイド、農業者サイドも一生懸命頑張っていく、議会の力添えを頂ければと思う

深川市農業関係団体・深川市議会意見交換会 アンケート結果

意見交換会終了時に、参加者された皆さんに下記項目でアンケートへの協力をお願いいたしました。〔回答数 22（議員を除く）〕

回答では各項目について「良い・概ね良い」が過半の評価を頂きましたが、「設問4～7」における「参加人数と規模・意見交換に十分な時間への配慮」についてのご指摘がありました。

- 問1 開催スケジュールについて
- 問2 会場設定・配置について
- 問3 「農業基盤確保と農業の担い手確保」のテーマについて
- 問4 時間配分について
- 問5 発言時間について
- 問6 発言内容について
- 問7 参加人数規模について
- 問8 意見交換会の進行について
- 問9 機会があれば、また参加することについて



自由記入欄(抜粋)

- ・ 参集人数が多すぎるのではないのでしょうか
- ・ あまり良い発言ができませんでした(このような機会は良いと思います)
- ・ ありがとうございます
- ・ 議員さんとの意思疎通を図る機会が今後も必要です
- ・ 労働力確保対策について (発言できなかった)